

講義 レジюме

講師 特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや  
理事長 相川 良子

内容・テーマ

期日 平成27年8月12日

家庭教育支援・コミュニティの協働による家庭教育支援

1 家庭教育をめぐる主な動き

○ 家庭を取り巻く環境

- ・ 三世帯世帯の割合減少、母子世帯、共働き世帯の増加
- ・ 相対的貧困率 OECD34 か国中 29 位、子どもがいる現役世帯 33 位
- ・ 児童虐待相談対応件数、平成 25 年度過去最高で、73,802 件
- ・ 小学生の 273 人に 1 人、中学生の 37 人に 1 人が不登校
- ・ ひきこもり、ニート状態の若者は約 70 万人、25 歳～34 歳は倍増
- ・ 保護者の 4 割が悩みや不安を抱えている

○ 家庭教育をめぐる国の動き

- ・ 教育基本法の改正 (H18) 家庭教育に関する独立規定新設
- ・ 教育振興基本計画 (H20) 重点的に取り組む事項として家庭教育支援
- ・ 文部科学省 家庭教育支援の推進に関する検討委員会「つながりが創る豊かな家庭教育」(H24)
- ・ 第 2 期教育振興基本計画 (H25) 絆づくりと活力あるコミュニティの形成
- ・ 文部科学省 家庭教育支援チームの在り方についての検討 (H26)
- ・ 文部科学省 家庭教育支援手法(アウトリーチ型支援)の検討(H27)
- ・ 文部科学省 子供の貧困対策に関する大綱 (H26) 学校を窓口とした福祉関連機関との連携

○ 各自治体における家庭教育支援の取り組み

- ・ 学習機会の提供は 72,5%実施、発達段階の特徴や生活習慣の割合が高く学童期の親向け講座が多い
- ・ 家庭教育支援の課題として、☆関心低い親、困難を抱える親への効果的な取り組み、☆学校との連携、協力体制の構築、☆支援人材の養成

2 ネットワークで課題解決に取り組む家庭教育支援

○ 家庭教育支援チーム (登録数 441)

- ・ 連携先は教職員、保健センター、医療機関、対象は小学生、幼児の保護者、学習機会の提供や、つながりづくりが多く、訪問型支援は69%が実施していない
  - ・ 家庭教育支援チームの連携の在り方とチーム員の特性
  - ・ 主な取り組み事例
    - ① 家庭を開き、地域とのつながりをつくる山形県村山市・・・NPOと連携
    - ② SSWがリーダーの和歌山県湯浅町・・・保健福祉と連携
- 公民館等を中心とした「地域人材による家庭支援」(H26 18自治体)
- ・ 公民館が地域課題解決のために、計画立案段階、取り組み実施段階において関係者、団体等とどのような連携・協働体制をとったか
  - ・ 事業実施により、取り組みプロセスで構築できたこと、それを実現するために獲得したノウハウを明らかにする
  - ・ 主な取り組みの事例
    - ① 縦と横のネットワークを融合させた奈良市の「地域育ち☆親と子の支援プログラム」
    - ② 学校とのネットワークを核に、教育、保健福祉、NPO、大学等が連携し不登校児童生徒のもとに訪問する別府市の「別府市アウトリーチ型 家庭訪問事業」
- 3 コミュニティの協働による家庭教育支援
- 地域を巻き込んだ家庭教育支援の取り組み
- ・ 地域人材をつなげる仕組みをつくる 「課題でつなげる」「活動でつなげる」「顔の見える関係でつなげる」
  - ・ 地域の住民、NPOや各種団体、企業とのつながり(インフォーマルネットワーク)と課題解決に取り組む行政を中心とした協議会など(フォーマルネットワーク)をつなぐ役割と人材
  - ・ 取り組みの事例
    - ① 地域住民、NPO、企業がつながり、行政と連携して虐待発生防止に取り組む「渋谷ピアネット」の事例
- 4 まとめ・・・協働を形成するプロセス

.....

参考文献

文部科学省家庭教育支援手法に関する検討委員会 (H27) 資料 参照